



# 広報あくな

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行  
昭和52年3月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円

第362号

世帯数と人口		(2月1日現在)	
世帯数	9,237	(+5)	
人口	30,663	(+42)	
男	14,273	(+29)	
女	16,390	(+13)	
( )内は前月比			



## 仕事が生きがい

尻無中

鶴園新兵衛さん(70歳)

ノミを振るって五十五年、大工一筋に生き抜いてきた鶴園新兵衛さんは、今年七十歳の現役大工です。

農家に生まれた鶴園さんは、平地が少なく耕作地に恵まれない尻無で生きるには「職人で生きる以外にない」と決意。叔父の勧めもあって、数え年十六歳で大工の師匠につき六年間修業。当時は「夜が明けてから日の暮れるまで」の仕事で日当は七十銭。

一時は十五人ほどいた弟子も独立。最近では型枠づくりの器用さを買われて納骨堂建てを頼まれることが多い。「納骨堂建ては家以上に喜ばれる」と前置きして「家は自分のために建てるが、納骨堂は、親孝行ができたという供養の満足感があるせいでしょう」と話されます。

「仕事は何よりも楽しみ」と言われる鶴園さんは、まだまだ元気です。

(仕事を楽しむ鶴園さん)

## 郷土に生きる

昭和52年

# 3月号

# 5年計画で舗装率70%に

## 道路整備に二億七千万円投入

### 懸案の中屋敷橋が新設に

市では産業生活基盤として重要な道路整備事業を、市政の重点施策のひとつとして、毎年、計画的に市道の改良舗装を進めています。道路整備五か年計画の二年目に当たる本年度は、新規事業として臨時市町村道路整備事業を導入するなど

五年前の二・三倍の事業費に当たる一億八千七百九十八万円を投じて、急ピッチで改良舗装を進めています。このほか本年度は、八千二百五十七万円を百一か所の災害復旧工事を行うなど、着々と道路整備が行われています。

本市には四百三十一路線、延長二十八万八千五百八十一

新たに道路整備五か年計画を策定しました。

し、五年間で百三十七路線を対象に、五万四千四百四十四を改良舗装する計画です。

の市道があります。市ではこれらの道路を、できる限り早急に改良舗装するため、従来の道路整備

では、四十九年度末で舗装延長十四万七千七百七十七、舗装率五二・二九の市道を、五年後の昭和五十四年度には、市道の七十割を改良舗装する計画です。

五か年計画の初年度に当たる昨年度は、深刻な財政窮迫のなかで一万一千三百五十一を改良舗装しています。

し、昭和五十年度に

この計画に基づき、毎年、市道の四割前後を改良舗装することに

特に本年度は、国際的な不況のなかで、国が景気浮揚策として市町村に奨励した臨時市町村道路整備事業を実施するなど、列表のよ

うに、いまだかつてない一億八千七百九十八万円の事業費を投入し一万三千八百七十の改良舗装工事を実施しています。

中屋敷橋の取付道路新設も進む



最近5年間の市道改良舗装事業費の伸び

事業費 年度	1億円	1億5千万円	1億8千万円
47	7994万円		
48	8977万円		
49	1億1801万円		
50	1億833万円		
51			1億8798万円

ど、懸案となっていた三十二路線が計画どおり改良舗装され、道路整備が着々と進められています。

#### 百一箇所を災害復旧維持管理にも努力

市道の改良舗装と共に、維持管理も市の重要な仕事です。本年度は七月に台風9号、九月に台風17号と二回の台風によって、道路・河川なども災害を受けました。そこで市では、国庫補助が決定した松岡橋など、百一箇所の災害復旧工事を行っています。

このうち三十七箇所の災害復旧工事を終わり、新たに国庫補助が決定した戸柱・倉津線・山下・弓木野線など六十四箇所の災害復旧工事を二月に発注するなど、道路整備への注目を注いでいます。

#### 本年度の改良舗装路線

大田野線・尻無本線・横ヶ倉線  
中央線(仲仁田地区)・桐野飛松線  
山線・泉道村中線・中川原線・平支線  
奥線・黒道水原線・大曲村中線  
大黒黒之浜線・北平線・袴羽田線  
太郎原線・平迫赤ヶ迫線  
中央線(袴地区)・長野山下線  
鬼田平線・小池海岸線・穴迫線  
柏原線・白鶴線・大下小川内線  
橋之浦大連線・上野ヶ丘線・大尾牧内線  
深田線・打越線

#### 本年度の主な災害復旧工事

黒之上大連線・皆五郎線・相野餅井線  
赤瀬川線・黒崎線・寺山線  
上野大尾ヶ岡線・泉道長谷線  
戸柱倉津線・波留山下線  
穴迫線・山下弓木野線  
茶ヶ段線・奈レ石線  
飛松下越線・飛松落線  
北平線  
国道馬見塚線  
横ヶ倉線  
宮田線  
本ノ牟礼線  
戸木俣線  
大川本線  
鈴木段線  
御代田線  
南畑線  
下越線  
飛松下越線  
赤瀬川線  
戸柱倉津線  
飛松落線  
妻井田線  
山下弓木野線  
羽田牧内線  
尾原線  
中央線(有田)  
牛之浜船場線  
馬見塚戸線  
山之田線  
牛之浜長迫線  
波留山下線  
下田代線  
瀬之浦上原線  
山下弓木野線  
弓木野川  
治次郎川  
茶ヶ段川  
金山川  
米次川

# 市道を県が改良舗装

## 鶴中スクールゾーンを整備



右側道路が現在の中央線  
左側が新設される道路

内田橋を起点に、豊原城を経て鶴川内橋に至る区間二千四百二十坪の市道中央線と、県が代行して改良舗装する県代行中央線道路新設改良工事は昨年七月着工し、現在、豊原城地区の道路新設工事が進められています。

この事業は、同地区の主要道路となつていて中央線を、市が県に改良を陳情し、県が本市に代つて市道を改良舗装するもので、秘書

同地区の中央線は、農道舗装事業で舗装されていますが、幅員四坪の狭い道路のうえ、鶴川内中

学校の校舎と運動場を二分しており、地区民から学校教育の面からもスクールゾーンの整備についても要請があったところで、このため県は、片道に一・五坪の歩道を設け、二車線幅員九坪の道路にする計画で、五十年年度の用地買収に続き本年度は、まず鶴川

内中学校のスクールゾーン整備として、同校運動場西側に道路を新設することにしています。この道路が完成しますと、通勤通学はもとより、養蚕や果樹栽培の盛んな同地区の農業振興に果たす役割は極めて大きく、地元では大きな期待を寄せています。

## 魔の大川カーブ改良に

### 新年度から用地買収

建設省は魔の大川カーブとして交通事故の多発地帯となつていて国道3号線の大川・尻無間を局部改良することにし、新年度から用地買収を始める計画で測量を進めています。

大川・尻無間でも最も交通事故の多い大川側の八百六十坪で、将来交通量が増えることを考えて、四車線分の用地買収を行うことにしていますが、今回の改良工事では現在の国道のとおり二車線とする考えです。

同地区の国道3号線は、S字型の急カーブのなかに、二箇所のみバス停留所があるなど、市内でも最も交通事故の多い所です。

このため警察署では、年々増える交通量に対応して、追い越し禁止に続き制限時速を三十kmまで落とすなど事故防止に努めています。



自衛隊誘致を陳情する市長ら

## 市長ら三原防衛庁長官と会談

### 自衛隊誘致を陳情

一月に開かれた臨時市議会で自衛隊誘致を決議した本市では、陸上自衛隊第八師団への陳情に続き、二月十六日、坂元市長牛之濱市議会議長岩崎商工会議所副会頭の三氏が上京し、二月十七日正午防衛庁長官室を訪問。三原朝雄防衛

庁長官と会談し、①城域開発②治安維持③市民福祉などの観点から、自衛隊誘致について陳情しました。このあと十六時から、浜田幸一防衛庁政務次官と栗橋弘臣陸上自衛隊幕僚長にも陳情し、二月十八日帰郷しました。

この陳情は、防衛庁が国土防衛計画によって、西部地区の防衛体制の強化を図るため、第八師団の隊員約二千人を増強し、南九州地区に配置する計画があるため行われたものです。

ご希望の方は市民相談係(市役所①1211内線267)まで、速達なく申し出てください。譲りませ 単車(50cc・80cc・90cc)・電気ミシン・ベビーフットとベット・ミシン・ドラムセット・細機・お茶セット 求めます 自転車・揚水ポンプ ガター・8ミリ映写機・フルートオルガン・ポットまたは木船

- ①応募用紙の大きさはB二(五十一・五cm×七二・八cm)とし、ケント紙を使用する。
  - ②標語として「あくな文旦」の文字を必ず入れる。
  - ③採用された原稿の権利は、すべて阿久根市に帰属する。
  - ④採用決定については、本市審査委員会が審査し、後日採用決定者に通知する。
  - ⑤提出された作品は返却しない。
- 不用品情報



# 国民宿舎軌道に乗る

## 創業後、初の黒字に

### 純益七百万円が見込まれる

総事業費四億二千万円を投じた九州随一の国民宿舎として、昭和四十九年六月一日、華々しくオープンした「国民宿舎あくね」は、創業以来、赤字経営を続けてきましたが、市では累積赤字を少なくするため、観光客の誘致を促進する一方、国民宿舎取付道路の購入代金を、五十一年度から一般会計で賄うなど経営改善を図り、本年度決算では創業以来初の約七百万円の黒字が見込まれています。

国民宿舎は総事業費四億二千万円のうち三億一千万円を市債(市の借入金)に依存し、営業当時から償還金の返済を含めた黒字経営が大きな課題とされてきました。しかし、営業開始となった四十九年度には、別表一のように、早くも一千八百五十九万円の赤字となりました。翌年の五十年度は、観光客の誘致運動が効果を奏し、宿泊者は増加したものの八百三十七万円の赤字となり、累積赤字は二千六百九十六万円に達しました。そこで市では、宿泊者や宴会など国民宿舎の利用者を多くするため、観光客の誘致運動を強化する一方、国民宿舎が支払っている支出金のうち、国民宿舎取付道路の購入代金を、昭和五十一年度から一般会計(市が行政を行うための

別表1 国民宿舎の経営状況 (51年度は見込み △は赤字)

区分 年度	収入	支出	差引損益	主な支出	
				償還金等	取付道路 購入費
49	143769476	162366087	△18596611	16358381	13414748
50	194866095	203238260	△8372165	23853862	17864989
51	204225404	197044000	7181404	24395990	0
計	542860975	562648347	△19787372	64808223	31279737

別表2 4月1日から改定される宿泊料および食事料

利用者	単位	宿泊料	食事料			合計
			朝食	夕食	計	
大人	一人	1900	500	1000	1500	3400
小学校児童	一人	1400	500	1000	1500	2900
幼児		無料	実費			

環境庁自然保護局は、このほど諸物価の上昇を理由に国民宿舎の利用料基準を改定しました。これに伴い四月一日から全国一斉に国民宿舎の利用料が引き上げられ、本市でも基準どおり四月一日から実施されます。

改定の主な内容は、大人で一泊二食付きの場合二千九百円が三千四百円に、小学生児童で一泊二食付きの場合二千四百円が二千九百円に、それぞれ五百円ずつ引き上げられます。なお今回の改定で、中学生以上は大人の使用料となりました。

この結果、国民宿舎の利用者は年々増加し、五十一年度は九万九千五百七十七人の利用者が見込まれ、三月末決算では営業開始以来初の七百十八万円の黒字が見込まれる明るい見通しとなりました。

国民宿舎取付道路は「阿久根市開発公社」が新設した道路で、この道路を八千三百八十八万四千四百円で購入することにし、四十九年度から八年間で支払うことになった

別表3 利用者状況 (51年度は見込み)

区分 年度	宿泊	会議・休憩	宴会	計
49	20599	14819	31454	66872
50	25513	17278	41917	84708
51	26657	25189	39111	90957
計	72769	57286	112482	242537

なお、この道路は四十九年六月に、市道連見ヶ岡線に編入され、これまでにも市が災害復旧工事を行うなど維持管理を行っています。

四月一日から使用料を改定  
一泊二食付きで三千四百円

おくやみ

- 牛之濱利雄 64(牛之浜)アキ
- 奥平コンキク 94(大丸)清見
- 田代ネク 88(田代下)重則
- 山口セン 89(米次)重義
- 寺地榮蔵 75(尻無中)ツゲノ
- 赤松重美 64(長野)重行
- 花木サツキ 85(川畑中)正
- 平哲子 0(中村)敏男
- 寺地梅吉 75(尻下)シラミツ
- 寺地富義 63(尻無下)シラノ
- 的場エイ 81(的場)有助
- 野崎正彦 87(黒之浜)太郎
- 竹原清十 82(橋之西)良一
- 仁禮英子 39(黒之上)一男
- 仁禮ツギエ 61(黒之浜)近衛
- 黒川宅平 68(橋之西)田鶴
- 西加免 80(黒之上)安雄
- 大淵千年 64(大淵)イタ
- 寺地栄次郎 74(尻無下)フチエ
- 平本正彦 62(大尾)アキノ
- 川畑勉 29(大川島)杉蔵
- 西田アキ 78(飛松)好一
- 白濱貫道 86(高松)津
- 飯元ツヤ 87(高松)庄蔵
- 大石トキ 81(上野)正美
- 佐藤重吉 75(佐藤)ミサエ
- 下園芳太郎 79(尻無下)モキ
- 高口吉助 51(高之口)カズエ
- 宮田ハツユキ 63(波留)秀吉
- 牛之濱ワセ 86(牛之浜)スミエ
- 新井サワ 88(飛松)善蔵
- 尻無十次郎 72(尻下)イセマツ
- 吉岡ヨシ 78(波留)清一

## 中小企業者に機械類を貸与

## 申込みは四月一日から

昭和五十二年度分の「中小企業設備貸与制度」の設備借受け希望者の受付が、四月一日から行われます。

この制度は、専門的な知識・技術や、資金の調達が弱い小規模企業者に「財団法人鹿児島県中小企業設備貸与協会」が機械類を購入し、現物貸与（割賦販売）する制度で、貸与対象者や貸与方法などは次のとおりです。

## ▽受付期間

四月一日から随時受付。ただし予算に達した場合は、その時点で締切。

## ▽貸与の対象となる企業

次の要件にすべて該当する企業  
①業内の工場または事務所機械設備を設置しようとする企業で、一年以上現在の事業を継続していること。

ていないこと。

⑥金融機関から、設備資金の融資を受けることが容易でないこと。

▽貸与される設備

県の中小企業設備近代化資金の対象設備と同じ。

▽貸与設備の価格

貸与する設備の合計額は二十万円以上・一千二百万円まで。一千二百万円を超える場合は、超過分を前納したら貸与が受けられる。

▽貸与方法 割賦販売方法。

詳しくは、商工会議所か鹿児島中小企業設備貸与協会（電話〇九二二〇八一―一内線四四七）まで

## 国民年金

## 四月から保険料を改定

## ひと月二千二百円に

国民年金の保険料が、四月分から、ひと月につき二千二百円に改められます。

国民年金は、給付額の三分の一を国が負担していますが、昨年十

低額に押えられていた保険料を、加入者の負担が急に増えることを避けるため、今年から段階的に引き上げることとしたものです。

また、より高い年金を受けるための付加保険料は、現行どおり四百円となっていますので、ひと月二千六百円の保険料となります。

なお、昭和五十一年度分の国民年金保険料の納期限は、四月末日までとなっていますが、なるべく区長さんが集められる今月末までに納入されるようお願いいたします。

五十二年五月以降に納入される場合は、市役所・支所等の窓口で現金送金用の納付書をつくってもいい、郵便局から社会保険事務所に送金しなければならぬなど、納入が面倒になるだけでなく、期限までに納入されないと、将来、年金が受けられなくなるおそれがありますので、期限までには必ず納めるようにしましょう。

納入が困難な方は、保険料の免除制度もありますので、市役所国民年金係にご相談ください。

## 県知事選挙

## 鎌田要人氏が初当選

投票率は58.33%



鎌田要人氏

金九三郎前知事の辞任に伴う鹿児島県知事選挙は、二月二十七日県内千八百八十七投票所で行われ、

即日開票の結果、前自治省事務次官の鎌田要人氏（五五）が、初当選しました。

今回の知事選は、投票率が伸び悩み、本市でも前回の八五・七四割を大きく下回る五八・三三割という低い投票率に終わりました。

なお、本市での各候補者の得票数は、次のとおりです。

当 九四八七 鎌田要人55 自新  
一八八九 東 政則70 無新  
八八八 坂元幸一71 無新

鎌田要人氏の略歴 旧制二中、

七高から、昭和十八年東大法卒。

卒業後内務省に入り、静岡県副知事・消防庁長官・自治事務次官などを歴任。日置郡金峰町出身。

## 在宅医さん

三月二十日

阿久根内科②0578（新町）  
喜多医院 ②0038（大丸）  
平 医院 ②626（古里）

三月二十一日

上園医院 ①055（本町）  
内山病院 ①551（高松）  
黒木医院 ①0200（下村）

三月二十七日

北国医院 ②0016（本町）  
田中医院 ③0553（大丸）  
石原医院 ⑤0045（橋之東）

献血にご協力を

県赤十字血液センターでは、三月三十日（水）市内三箇所献血を行います。万に備えて健康な方は献血にご協力ください。

午前九時三十分から十二時まで市病舎で、午後一時から二時まで阿久根協会で、午後二時十五分から三時まで中継ニットで。

# 米次が4年連続優勝

## 田代校区で駅伝大会



前半戦は田代下がリード

# ひろば

この欄は市民のみなさんのページです。話題や市政に対する意見などがありましたら市総務課秘書広報係までお知らせください。

校区民の融和と健康づくりを図る第四回田代校区駅伝競走大会は二月二十日(日)午後二時から開かれ、予想どおり米次チームが優勝しました。

競走は田代小学校校庭から米次と田代下を折り返す十四・六路の区間で行われ、序盤戦は田代下に首位を奪われていた米次チームが終盤戦で首位を奪い、四年連続優勝の栄冠を手に入れました。

この駅伝大会は、各チーム十四人が参加し、一人当たり約二キロを走る誰でも参加できるミニマラソンとあって、小学生をスタートに

中高校生から四十代・五十代など一般の人も参加し、熱戦を展開しました。

競走に参加した人の中には、仕事着に地下タビを履いて、練習なしで走る「お父さん」や「お母さん」たちもあり、久し振りのマラソンを楽しんでいました。

競走に参加した今年六十三歳の中野留吉さんは「思うように足は進まない」と、息を弾ませながらも満足そうでした。

なお成績は次のとおりでした。  
①米次②田代下③田代中④尾原

## 清水正さんが金賞

蓮矢区の清水正さん(69歳)は、1月28日から30日まで、鹿兒島市の高島屋デパートで開かれた身体障害者作品展に、米アゲザルを出品し金賞を受賞され、このほど市長室で小野助役から賞状と記念品が伝達されました。



## 国民宿舎を桜の名所に

「ちょうろのよい国民宿舎付近を桜の名所にしよう」と、武田知三郎さんから花木公園推進協議会は、市青年商工クラブ員などの協力を得て、二月二十五日、小雨の中をぬれながら桜の苗木千本を国民宿舎付近などに植えました。同協議会は、これまでに約五千本の桜を植え、うち二千本を国民宿舎付近に植えています。



## おめでた

出陣見	保護者	区名
山崎 徹志	敬	(寺山)
中原 正成	成人	(裕)
田中 夕子	一徳	(丸内)
鳥飼 貴教	公貴	(永田下)
山元 裕子	九十九	(上野)
下藤 祐介	茂久	(尻無下)
上三垣 恵	實	(新町)
坂口 勝己	守	(寺山)
中村 郁子	明彦	(大尾)
花木 友和	一廣	(尻無中)
寺園 勝夫	健二	(長野)
馬見新幸子	則明	(佐洞)
花田 利恵	末雄	(大丸)
川畑 伸也	勝昭	(高松)
新町 耕一郎	廣志	(大丸)
垂 政行	政則	(大丸)
富永 辰也	寛	(尾崎)
松久保 啓	郁雄	(新町)
新留 淳一	勉	(永田上)
馬見新真紀	勉	(洞)
奥 勝弘	義人	(上野)
木下 加奈子	正行	(中村)
牛之濱 恵	吉朗	(牛之浜)
新藤 朋子	英治	(大丸)
伊 達也	誠	(牧内)
巻木 洋平	又男	(新)
牛之濱由希	時春	(牛之浜)
野畑 知美	知良	(大下)
岩崎 りか	賢一	(洞)
萩原 俊介	和俊	(高之口)
中野 麻美	静一	(羽田)
有田 玲	弘光	(尾崎)



## 飯田さんに南日本社会教育賞 県内でただ1人の受賞



▷表彰を受ける飯田さん

市婦人会長の飯田節さんが、2月24日鹿児島市の県文化センターで開かれた第20回鹿児島県社会教育大会の席上で、南日本社会教育賞を受賞されました。

県内各団体のなかから、ただ1人選ばれた飯田さんは、昭和19年に新町区婦人会長になって以来33年間、婦人会活動に貢献されて来ました。その間、昭和39年からは市婦人会長として冠婚葬祭の簡素化、花いっぱい運動、共同募金、交通安全運動、明るい選挙の推進、独居老人への愛の声かけ運動などの指導者として、地域社会の発展に寄与されてきました。

表彰状と記念品を受けられた飯田さんは、「永年の婦人会活動が認められてうれしい。これからも郷土のために尽くします」と抱負を述べられていました。

南日本社会教育賞は、社会教育の振興を図るために昭和39年に創設され、青少年や個人高齢者など、社会教育団体の育成発展に永年尽くし、功労のあった人などに贈られるもので、飯田さんは14人目の受賞者。

【飯田さんの略歴と業績】川内市出身で大正11年、川内高女卒。卒業後19年間、小学校や青年学校などの教諭を務め、昭和18年に高満さんと結婚、以後33年間、校区婦人会長などのあと昭和39年から市婦人会長として活躍。

## わたしの提言⑪



丸内区  
田島節子さん

ゴミの出し方にも工夫を

私たちの日常生活のなかで最近、ゴミ処理が大きな問題となっていると言っても、過言ではないと思います。  
幼児から老人まで、ゴミを出さない生活は考えられないほどで、このため市では農村地帯までゴミ収集をされているようです。  
ゴミ処理には処理費が必要でしようし、私たちが多くのゴミを出しますと、必然的に処理費もかさむことになると思

います。  
そこでゴミは、燃えるもの、燃えないもの、金物類などに分類し、燃えるものは自宅で処分したり、残飯などは水切りを良くし土に返すなど私たちがなりの処理方法を考え、ゴミの量を減らすように心掛けたいものです。  
ゴミは決められた日に、決められた場所にという小さなことさえも守られていないのを見るにつけ、もっと責任のある出し方を思っています。  
明るく住みよい環境づくりの主役は、私たち市民であることを忘れてはならないと思います。

## シカに野菜をプレゼント

「新鮮な野菜を腹いっぱい食べて、元気な赤ちゃんを産んで」と、2月8日、市と観光協会は、すっかり観光客のアイドルとなっている阿久根大島のシカたちに、ハクサイやキャベツなどの野菜をプレゼントしました。いつもは配合飼料で飼育されているシカたちは、久しぶりの青ものに喜んでいました。



## 社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。  
香典返し寄付(敬称略)

- 遠矢 洋和 和一(寺山)
- 川崎 住子 直樹(折口東)
- 湯田 浩二 誠一(尻無中)
- 濱邊 勇生 鎮人(寺山)
- 花田 エミ 和男(的場)
- 松下 誠 義夫(桐野下)
- 小山 三佳 保夫(黒之尻)
- 園田 辰巳 敏雄(古里)
- 浜上 健一 洋美(黒之上)
- 新柳 英子 重美(大湖川)
- 寺下 真 誠吾(橋之西)
- 京田 真希 三男(瀬之上)

- 川畑ハルエ(椿) 徳角篤義(田代下)
- 松林栄吉(伊) 花田キエノ(中屋敷) 寺下栄助(橋之浦西)
- 北国昭雄(浜) 大池イク(大連) 東則雄(上野)
- 演田友也(上野) 上野武憲(陳之尾)
- 小浜清子(川畑) 吉岡盛人(波留)
- 川畑重志(川畑中)
- 川畑強(川畑中) 宮内正美(波留)

特志寄付(敬称略)  
滝川昇(佐鶴)

火災は人災

防ぐはあなた

わが町の福祉 ③

重度心身障害児の福祉

重度心身障害児に特別児童扶養手当  
精神または身体に重度の障害（1級～2級）がある20歳未満の児童を養育されている人に、特別児童扶養手当が支給されます。ただし、その児童が、里子や収容施設などに入所している場合や母子年金・遺族年金などの公的年金の対象となっている場合は支給されません。

△手当の支給額  
重度障害児（1級） 1人につき月20300円  
中度障害児（2級） 1人につき月13500円

△手当の支給期  
手当は1月・5月・9月に分けて、年3回支給されます。

△申し込みに必要な書類  
①認定請求書②戸籍謄本③住民票謄本④養育監護申立書⑤児童の診断書

補装具の給付

心身障害の程度や種類によって、在宅児や病院などに入院している重度の心身障害児に、頭部保持具・歩行補助杖・義手・義足・車イス・補聴器・盲人安全杖・革靴などを支給します。

日常生活用具を給付

在宅の重度心身障害児（1級～2級）で、両上下肢の体幹不自由者に、浴槽・ふろ用湯沸器手すり付便器・特殊マット・訓練用イスなどが支給され、訓練用ベットが貸与されます。

社会的に弱い立場にある身寄りのない老人、身障者などを励ましたり合おうと、本市でも昨年十二月に、歳末たすけあい運動が展開されました。

不況のなかでの募金活動にもかかわらず、今年九十二万二千八百円、前年度繰越金七万一千四百六十一

円を加え、総額九十九万三千五百四十二円の歳末たすけあい資金を一人暮らしの老人や寝たきり老人長期入院患者、交通遺児などに見舞金としてお届けしました。

また、市青年商工クラブと租相互信用金庫の杉の子会は、慈善パーティーを開催。その益金を歳末たすけあい資金として寄付されたのをはじめ、阿久根高校ではパーザの益金を寄付されています。

交通事故の無料相談

社団法人日本損害保険協会自動車保険請求相談センターでは、交通事故でお困りの方のために、無料相談に応じていますので、遠慮なくご相談ください。

- ▽受付時間 平日は九時半から四時半まで。土曜日は十二時まで。
- ▽所在地 鹿兒島市西千石町十七太陽生命ビル八階。自動車保険料率算定会鹿兒島調査事務所内。
- ▽電話 〇九九二一〇八一四〇

独居老人などに見舞金

歳末たすけあい募金で

ボーイスカウトなども協力

配分	金額	内訳
独居老人	102500	2500×41人
寝たきり老人	187500	2500×75人
一般生活困窮者	165000	2500×66人
交通・災害・高難等の遺児	100000	2500×40人
父子世帯	75000	2500×30人
一年以上の長期療養入院者	34500	1500×23人
老人ホーム	94500	1500×63人
阿久根療養所入所者	45000	1500×30人
施設入所者（児）	82500	1500×55人
事務費	26430	
翌年度繰越金	80612	
合計	993542	

昭和51年歳末たすけあい運動募金配分

相談 裁判費用がなく困っていますか、何か方法は？  
回答 私たちは好むと好まざるにかかわらず、いろいろな紛争に巻き込まれることがあります。このような紛争の場合、当事者間で解決できないときは、裁判によって自分の正当な利益を守る以外に別の方法を検討してください。

人権相談シリーズ ⑦  
や弁護士費用を立替える「法律扶助」制度があります。裁判費用がなくお困りの方は、最寄りの人権擁護委員に遠慮なくご相談ください。

訓練手前をもらいながら職業訓練が受けられます  
職業訓練課では、技能を身につけて就職をしたい人のために、県内六箇所に職業訓練校を設けています。受講期間中は、雇用保険金を支給している人は訓練終了まで引き続き雇用保険基本手当・受講手当・通所手当・寄宿手当などが支給されるほか、雇用保険金の支給されない人で職業転換者や職業安定所長の指示により入校した人は月額六万円から六万五千円の訓練手当などが支給されます。

- 入校は四月、申込みは三月となっていますが、各職業訓練校とも定員に達し次第、申込みを締切ることになっていますので、職業安定所または各職業訓練校にお問い合わせのうえ、早目にお申し込みください。
- ▽訓練校および電話番号  
宮之城専修職業訓練校（〇九九六五〇〇二〇七） 鹿屋専修職業訓練校（〇九九四四〇二〇三六）  
吹上高等職業訓練校（〇九九二九〇二〇五〇） 中央専修職業訓練校（〇九九五六〇二二四七）  
鹿兒島総合高等職業訓練校（〇九九二〇三七五二） 川内総合高等職業訓練校（〇九九六二〇二二二一）  
▽訓練科目 建築・木工・板金・ブロック建築・洋服・塗装・自動車運転・電気工事・溶接、訓練科目は各訓練校で異なります。